

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

研修指導者名

黒野 祐一	宮之原 郁代	大堀 純一郎	間世田 佳子	原田 みずえ
宮下 圭一	永野 広海	川畠 雅樹	牧瀬 高穂	

メッセージ

耳鼻咽喉科・頭頸部外科はその名の通り、ヒトの五感のうち、聴覚、嗅覚、味覚の三つに關与する診療科です。疾患としても中耳炎や鼻炎、咽頭喉頭炎などの感染症から、めまいや難聴（突発性、遺伝性、心因性、加齢性など）、嗅覚・味覚障害そして頭頸部の良性腫瘍（唾液腺、甲状腺など）や頭頸部悪性腫瘍と守備範囲が広く、かつQOLに直結するため、とてもやりがいのある分野といえます。国民病であるスギ花粉症については、舌下免疫療法も始まり、今後さらに治療のための研究が進むと思われれます。

一方で頭頸部癌の治療では、発声や嚥下といった機能を温存するために抗癌剤治療や放射線治療を行ったり、根治のために周囲の器官と癌をいっしょに合併切除し、一部の機能を犠牲にしなければならない手術がこれまでは主流でした。近年、内視鏡光学機器の発達により、定期的な健診や人間ドックでの胃カメラ検査などで、ごく早期の粘膜癌（表在癌）が見つかるようになり、咽頭や喉頭の早期癌に対する新たな手術方法として、「経口的腫瘍切除術」を行うようになってきました。当科でも2011年4月からこの手術方法を導入し、消化器内科や消化器外科のチームなどと協力しながら合同で低侵襲な治療を行っています。

主な研究では、「上気道感染症と粘膜免疫」をテーマに、経鼻、舌下、経皮などをルートとした粘膜ワクチンによる上気道感染予防法の確立を目指しています。「アレルギー」も重要なテーマであり、免疫学的な側面から基礎的・臨床的研究を進めています。

少人数の教室ですが、学生そして研修医の教育にも全力を尽くしております。耳鼻咽喉科領域の疾患は一見難しそうですが、機能的な病態を理解する力さえ身につければ、高度な医療の実践もそれほど困難ではありません。いっしょに耳鼻咽喉科頭頸部外科の医療をささえていきませんか。

研修目標

耳鼻咽喉科・頭頸部外科の全般的な診療が行えるようになり、疾患に対する基本的な治療方針を計画でき、保存的治療、手術的治療の方針を立てることができることを目標とします。

さらに治療方針にしたがって実際の治療を担当することで、多種多様な手術手技・周術期の全身管理を習得することができます。

研修可能技能

上気道感染症、アレルギー性鼻炎などに対する薬物治療。めまいに対する前庭機能検査と治療。通常疾患の手術治療（扁桃摘出術、鼻中隔矯正術、顕微鏡下声帯ポリープ摘出術、鼓室形成術、内視鏡下鼻内副鼻腔手術、早期癌の経口切除術）。頭頸部悪性腫瘍に対する手術（頸部郭清術、腫瘍摘出術）および腫瘍摘出後の再建外科手術（微小血管吻合を伴う遊離皮弁移植術）。

取得できる専門医資格技能

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医（5年目）	日本アレルギー学会認定専門医（5年）
日本気管食道科学会認定専門医（5年）	日本頭頸部外科学会認定頭頸部がん専門医
補聴器適合判定医	



特 徴

「初期研修」では、耳鼻咽喉科領域の診察の仕方、検査の組み立て方や診断に至るまでの考え方鑑別疾患についてなど、実際の症例を上級医とともに実践にて身に付けることができます。「後期研修」では、実際に手術の基本手技を覚えてもらい、習熟度にあわせて実際の手術も上級医の指導のもとに行ってもらいます。

また学校検診や離島検診に同伴してもらい、実際の地域医療や離島医療の現場を知ってもらうことで、地域医療に貢献できる医師を育成します。

研修参加条件

卒後初期臨床研修終了者

研修施設

鹿児島大学病院ならびに鹿児島大学耳鼻咽喉科関連病院（鹿児島市立病院、鹿児島医療センター、鹿児島生協病院、今村病院分院、藤元総合病院など）。離島診療として、公立種子島病院、田上病院、屋久島栗生診療所や、離島検診で十島村にも赴き、へき地診療に貢献できます。

（上記施設は日本耳鼻咽喉科学会認定専門医教育施設を含む）。

研修期間

専門医取得：5年

学位取得：大学院コースに進学後4年（社会人大学院生を含む）。

研修プログラム

卒後2年間の初期研修を終えて当医局へ入局していただきますと、耳鼻咽喉科専門医取得を目指して4年間の臨床研修コースがスタートします。

研修医の希望に応じたオーダーメイドのプログラムを提供しておりますが、大きく分けて下記の2コースに分かれます。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科専門医コース（4年間）

主として鹿児島大学病院および関連病院（研修施設認可病院）での勤務を行います。

外来患者および入院患者の診療を担当し、入院患者の診療では診療チームに在籍し、指導医の指導を受けつつ診療をおこない研修をすすめます。

また施設ごとの特徴がある関連病院での研修では、研修期間中に複数の関連病院で研修をおこない、可能な限り多様な症例を経験するよう努めていただきます。



大学院コース（4年間）

臨床研修は専門医コースと同様に鹿児島大学病院及び関連病院で行い、外来患者及び入院患者の診療を担当することで耳鼻咽喉科一般診療・頭頸部外科手術のトレーニングを受けてもらいます。

研究活動としては指導教官のもと、粘膜免疫・アレルギーの領域で最先端の研究に従事していただき、研究内容によっては国内・海外の施設で短期留学を行うこともあります。

研究の中で優れた観察眼と洞察力を身につけていくことで、臨床の場でそれをフィードバックし論理的考察に基づいた診断力をも身につけることができます。

4年間のうちに研究成果をまとめることで、学位（博士号）を取得できます。さらに学位取得と同時に耳鼻咽喉科専門医も取得できます。学位取得後はさらに高度な研究を進めてもらう目的で、海外留学など新たな道が広がります。

研修病院の症例実績

(2011年～2013年)

病院名 手術・症例	大学
耳疾患	176
鼻疾患	298
咽喉頭疾患	261
唾液腺	111
甲状腺	20
頭頸部癌	307



扁桃摘出術

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	0	(0)	0
卒後4年目	1	(1)	0
卒後5年目	1	(1)	0

プログラムの募集人員及び選考

【募集人員】 2～4名

【選考】 適宜面談致します

研修と大学院の関係

初期臨床研修終了後ただちに大学院に入ることも可能であり、また研修開始後にも対応している。研修中に特に興味のある分野について研究を続けたいと希望があれば、大学院に進学する。大学院においてさらに専門的な研究を希望するものは国内外の留学を奨励している。

処 遇

大学病院の医員に準じる。

研修終了後の進路

鹿児島大学病院スタッフあるいは関連病院の職員として勤務する。

指導医・専門医

耳鼻咽喉科専門医：17人（学内9人、学外8人）

アレルギー学会専門医：4人、気管食道科専門医：2人

頭頸部がん専門医：1人

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35-1
電話：099-275-5410 FAX：099-264-8296
E-mail：entjm@m.kufm.kagoshima-u.ac.jp

